

2014.4 建まち誌学習会 「若者の住まいー脱法ハウスからシェア住居まで」 の感想

2014.9.2

2014.4 建まち誌やその他の資料を題材に、福田さんにチューターをしていただきました。

地域コミュニティの再構築の観点から、コレクティブハウスが注目された阪神淡路大震災(1995 年)以後、NANA (1999 漫画)、ラスト・フレンズ (2008 ドラマ)、テラスハウス (2012 ドラマ) などにも取り上げられたシェアハウスは、血縁・地縁・社縁だけではない新たな縁をつくる集住として、また、帰ってきて誰かがいる温かさの魅力があり、部屋を借りにくい単身女性や防犯上の安心を求める女性のためなど、素晴らしい面があるということでした。

コレクティブハウスやシェアハウスでは、問題意識の高いたくさんの方が世話人となり、クレーム処理などに追われながら、展望が見えなくとも、日々奮闘されているということでした。

一方で、シェアハウスに巢食う商才がいて、違法貸しルーム(脱法ハウス)・夜逃げ後処理屋・ネズミ講・遺品整理業・オフ会ビジネスなどの、いわゆる貧困ビジネスが蔓延するという面があります。

住宅の貧困対策がなかなか進まない中、脱法ハウスを必要とする人たちが虐げられており、現在は東京で多発する脱法ハウスも、放っておけば名古屋も同じ状況になるということでした。

展望が見えなくとも、簡単に明るさを求めず、まずは社会状況を反映する「住まい」の、明るい部分(シェアハウス)と暗い部分(貧困)のことを知ることが大切だと思うので、この学習会で THE BIG ISSUE などを読む機会ができ、いろんな意見を聞くことで、とても勉強になりました。

福田さんが根深い問題だとおっしゃっていましたが、本当にそう思いました。多忙な日常の中で一歩立ち止まって社会を見直す良い機会となりました。福田さん、忙しい中ありがとうございました。

(黒野晶大)



話題に出た本など

- ・THE BIG ISSUE ・若者ホームレス白書 1, 2 (特定非営利活動法人ビッグイシュー基金・湯浅誠、雨宮処凛など)
- ・「住宅政策のどこが問題か」 持家社会の次を展望する (平山洋介)
- ・コウハウジングー子育て、安心、支え合う仲間たち (コウハウジング研究会他)
- ・「春日井の高蔵寺ニュータウン」での中部大生 4 人の空き家シェア (新聞記事)
- ・「脱法ハウス」に見られる住まいのあり方についての見解(案) (新建 2014.6.8) など